

特 版

ビカビカの ニューフェイス

伊藤 公康 会員

物づくり大好き！

越智.. 初めに仕事についてお聞きします。

伊藤.. 工業高校を卒業して、子供の頃から車の整備をやりたくて、大型トラック専門の板金塗装の会社に就職しました。その後、更に技術を磨きたくて乗用車専門の会社へ移動をしました。シビアな仕事でしたがという願望があった気がします。そこで10年程勤めました。元々車は好きでしたが、途中からは仕事そのものが好きになりました。自分の車を綺麗にして乗ってるわけではないんですが(笑)綺麗に直っていく過程が好きでしたね。

越智.. 子供の頃からメカが好きだったのですか。

伊藤.. メカが好きというより、工具をいじるのが好きだったですね。



自転車のネジを外して、元に戻せなくなったりしてました(笑)道具が好きだったんですね。家が農業だったんですよ。大きな農機具の

工具があつて、それを子供の頃から見てました。何でも触って使いたくなってましたね。

畑違いへの転職...

越智.. 今の仕事とは随分違ったものでしたね。

伊藤.. そうなんです。前職と比べると全く違う世界ですね。経緯といえば、単に親の方から後を継がないかという事で、稼業を始めたわけです。父も元々農家でしたから、親子で180度の転換というわけです。文字通り、畑から畑違いの転職ですね(笑)

越智.. 営業テリトリーがあるわけですから、その中の営業活動ですね。

伊藤.. あくまでも配達エリア内での営業活動という事です。裏返せば営業を脅かされる事はないです。他エリアへのお客様を紹介することは可能ですけど、配達することはできないです。

越智.. 市内の販売店はエリアにどのくらいあるのですか。

伊藤.. 市内では17の販売店があります。多いところは6000世帯以上を抱えますが、戸数が多くても、アパート・マンションが多かったり、若い世代が多いと、購読率が下がる場合もあります。私の所は4300世帯ぐらいあります。その中での購読数は約2600ぐらいです。ただ購読率は下がっていますね。

その原因は若者達の新聞離れは大きな原因の一つですが、

経済的な要因が一番大きいと思います。

地域密着の試み！

越智.. 将来に向けて何かありますか。

伊藤.. 新聞販売以外の事です。地域へのサービスを考えています。例えばデリバリー業務とか、宅配業者の委託を受けて中継業務とか、お取り寄せの仲介などがあるかと思っています。それと、高齢化社会ですから一人暮らしのお年寄りが増えていくと思います。そういった方へのケアも考えられます。今も、ちょっとしたお手伝いはやっています。これからも信頼度を高め地域に密着貢献できる展開をしたいですね。

野球にゴルフ

越智.. スポーツは何かやっていますか。

伊藤.. 小学校の時から、野球が好きでやっています。大人になってから仲間とチームを作り、23年間続いています。この前、肉離れをして今年に行っていませんが、若い連中も入ってきていますので、世代交代ですね。あとはゴルフです。最近、少し一生懸命やっています。



整備士時代

す。ハンディーはまだ20です。ロータリーのゴルフ同好会にも出ています。休日は休刊日しかないですが、自分で時間調整をしてやりくりをしています。ゴルフするために休んでるという感じですかね(笑)

越智: 家族サービスはやってますか。

伊藤: 子供達も大きくなつて、それぞれ予定がありますから、中々できませんね。それでも年に1度は家族旅行をしています。

チャンピオンへのチャレンジ

越智: これまで影響を受けたものはありましたか。

伊藤: J.Cで日本J.Cへ出向した時は、色々な場面と人に出会うことができました。最後の年は日本J.Cの委員会の総括幹事をやらせてもらいました。40名程の委員会の仕切りをするわけですが、これは勉強になりましたね。全国各地より集まるので、興味深い人間にも沢山出会えました。その時は年間100回は飛行機に乗りましたよ。

越智: J.Cは在籍期間中に一度しか委員長は経験できませんが、委員長時代の思い出は。

伊藤: 自転車の愛好家を100人規模で集め、「食と風景」をからめたイベントを行いました。今ではそういった催しをテレビで見ることがあります。それを先駆けて開催しました。自転車を使って五感で何かを感じ取っても

らいたかったんですね。農場へ行って収穫体験をしたり、エコロジーパーク周辺の自然を体験してもらいました。企画をしたり実行する大変さはありましたが、良い勉強をさせてもらったと思っています。今やれといわれても、中々できないですけどね(笑)

留学生受け入れ興味あり!

越智: ロータリーに入ってどうですか。

伊藤: このロータリーが人作りという面では大事な場所だと思います。今まで以上に年代の幅をもった人達とお会いでき、これまでにない空間の中で学べることは自分が恵まれてるなと感じています。

越智: ロータリーで何かやってみたいことはありますか。

伊藤: 留学生の受け入れなんかしてみたいですね。奥さん次第でしょうが(笑)、同年代の娘もいま



イベントの企画

すし、皆が良い勉強になりそうですね。ロータリーについても、少しずつ勉強はしていこうと思っております。まずは参加することかなと考えます。どうぞ、宜しくお願いします。



氏名: 伊藤 公康
生年: 1972・3・16
会社: (有) かちまい西帯広 代表取締役
家族: 亜希子(あきこ) 妻
聖悠 (せいゆう) 長男

北星学園大学附属高等学校1年
妃穂 (きほ) 長女
帯広第二中学校 2年
八胡 (やこ) 二女
西小学校 5年